

Press Release



6 . 7 . 5
水 産 課
内 線 2 6 1 8

宇和海で発生した有害赤潮について

- 1 水産研究センターの調査によると、昨日（7月4日）、宇和島市津島町の岩松湾の一部海域において、海水の着色及び危険濃度（1,000細胞/ml以上）を超える1,035細胞/mlの有害プランクトン「カレニア・ミキモトイ」が観測されました。
- 2 これまでに、この赤潮による漁業被害は発生していませんが、宇和海沿岸では赤潮が発生しやすい時期となったことから、南予地方局水産課及び水産研究センターでは、関係漁業協同組合(支所)に対し
 - 漁場の監視を強化すること。
 - 魚類養殖では、餌止めや出荷作業を控えること。
 - 生簀の避難移動は、「赤潮被害対応マップ（H25県作成）」を参考に、適時・適切に実施することと呼び掛けています。（本県では、同種の赤潮により、平成24年に約12億3,000万円の漁業被害が発生しています。）
- 3 県としては、引き続き、水産研究センターで調査を継続するとともに、関係市町及び漁業協同組合との連携を密にして、迅速な情報提供に努めてまいります。

○本件連絡先

愛媛県農林水産部水産局水産課資源管理係

TEL 089-912-2618

担当者：中島兼太郎（内線2618）